

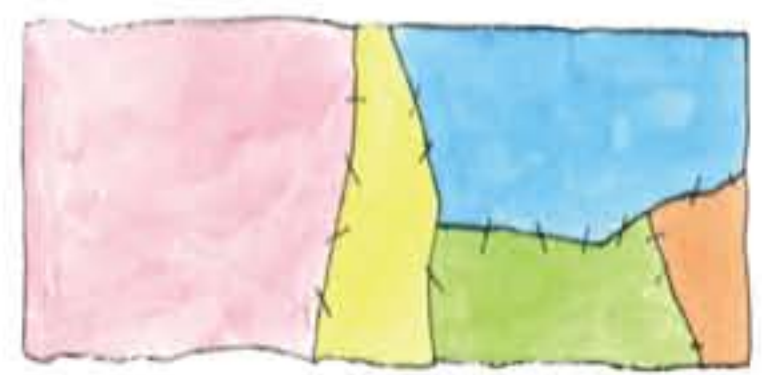
仕立屋 綴り

ここ「仕立屋 綴り」へは、持ち主の役目を終えた服や、思い出はあるが、違う形で使いたい服など、それぞれの服への思い出や記憶を記した手紙とともに贈られてくる。主は、長年トップデザイナーとして業界を走り続けてきた。しかし、早い流行サイクルのなかで、自分がデザインした服が売れて、捨てられ、消えていくことにふと気が付いた。

「自分が作った服はどんな人にどんな風に着られているのだろうか…」

そう考えはじめた主は、誰かが誰かのためにきる服づくりをしようと決心した。かわいいとか、カッコいいだけではなく、着る人にとって本当に価値ある豊かな着る。服の記憶を辿り、ひと縫いひと縫い過去の時間をつむぎ合わせるように、新たな役目を与え、次の世代へと縫い合わせていく…。

いろどりばっちゃんぐ



ばっちゃんぐいんてりあ

綴りのインテリア空間には、沢山の「ばっちゃんぐいんてりあ」が隠れている。チェアやラグ、ランプシェードや間仕切りレースなど、重要なインテリアエレメントに遊び心をもたせたパッチワークをすることで、ワクワク感が増し楽しさが詰まった空間になる。

また、ばっちゃんぐ素材のすべては仕立て直しからでた端材を使用しており、役目を終えた服の記憶とともに新しいエレメントとして空間を彩る。手紙とともに贈られてきた服たちは、カラーによって仕分けられ、壁面にグラデーションをつくりだし、訪れた人たちの目を奪うインテリアウォールとなる。

平面図 S=1:100

